※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学アート科

教科	学アート	科目	(学)楽器と文化	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし（自主教材）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

平易に編曲されたものから難易度の高いものまで、生徒の力にあった楽曲を使用し、基本的奏法、練習の仕方まで個別指導やグループ指導を交えて行う。定期的な演奏発表と相互鑑賞を行い、技術の定着と達成感を持たせる。

2　学習の到達目標

・様々な楽器の基本奏法を習得し、独奏や合奏を通して楽器の演奏の楽しみを味わう。また楽器が生まれた歴史的な背景や文化なども学習し楽器に対する理解を深める。
・様々な楽器を用いて工夫し、自己の感性を表現する力を養う。
・器楽演奏のよさを理解し、主体的に演奏の学習に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	楽器を演奏するうえで必要な基礎的音楽知識について学習し理解している。（知識） 各楽器の基礎的な演奏について取り組むことができる。（技能）	音楽表現を工夫し、自己の表現意図を持って器楽演奏表現することができる。	読譜・リズム奏・ピアノ・カホン等の演奏の学習を主体的に取り組もうとすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	楽器・器楽について	・メロディー奏、リズム打ちについて ・ボディーパーカッション ・カホン ・キーボード ・楽器が生まれた歴史的な背景や文化について	a:各楽器の奏法や音楽の基礎知識について理解している。 学習した音楽的な基礎知識を生かして各楽器でメロディーやリズムを演奏できる。 b: 学習した音楽的な基礎知識を生かして各楽器でのメロディー奏やリズム打ちを通じて創意工夫した演奏表現ができる。 c:主体的に各課題に取り組んでいる。	【知】各楽器の奏法や音楽の基礎知識について理解している。(実技テスト)(提出物) 【技】学習した音楽的な基礎知識を生かして各楽器でメロディーやリズム打ちを取り組む技能を有している。(実技テスト)	【思】学習した音楽的な基礎知識を生かして各楽器でのメロディー奏やリズム打ちを通じて創意工夫や自己のイメージを持った演奏表現ができる。(実技テスト)	【態】主体的・協働的に課題に取り組むことができる。(観察)(提出物)(実技テスト)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度